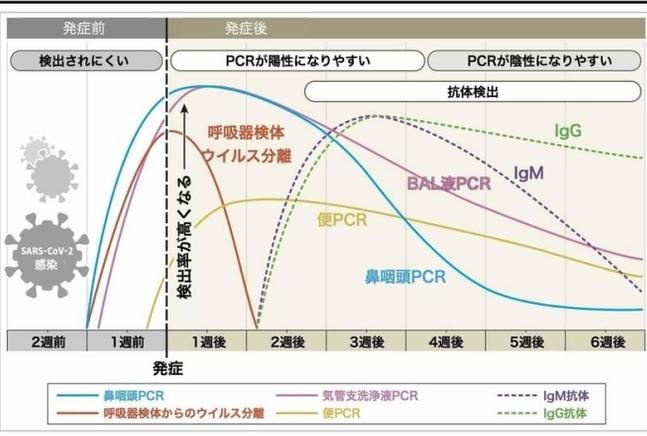


## 特集 新型コロナウイルス 各種検査の特徴について

厚生労働省が新型コロナウイルスの感染歴を調べる「抗体検査」を宮城・東京・大阪の3都府県で6月以降実施する方向であると発表しました。宮城県でも約3000人が対象（無作為に抽出）となるようです。

これまでPCR検査・抗原検査・抗体検査などが出てきており、どんな検査で何がわかるのか？特徴をまとめました。



	意義	検体	長所	短所
PCR検査	今感染しているかどうかを判定	鼻咽頭拭い液 喀痰など	感度が高い	結果までに時間がかかる (約6時間)
抗原検査 キット	過去に感染の有無を判定	鼻咽頭拭い液	短時間(約30分) で判定可能	感度が低い
抗体検査	過去に感染の有無を判定	血液	感染症流行の 全体像を把握 できる	偽陽性が 起こり得る

図は、それぞれの検査がいつからいつまで陽性になるかを示したものです。この図の中に抗原検査はありませんが、ウイルスの一部を検出するという意味ではPCR検査と同じ推移をすることになります。

発症してからしばらくはPCR検査が陽性になりやすく、2週以降はIgM/IgGが陽性になりやすくなります。

つまり、**今感染しているかどうかを知るためにはPCR検査と抗原検査が向いており、過去に感染していたかどうかを知るためには抗体検査が適している**ということになります。

### 抗体検査におけるIgM抗体・IgG抗体とは？(一般的な感染症における知見)

IgM抗体が陽性……感染初期であると判断される

IgG抗体が陽性……ウイルスに対する免疫が完成されており、再びウイルスが侵入してきても直ちにIgGが直ちに攻撃を開始できる状態だと判断される

**これからの季節、熱中症にも注意!!**  
**こまめに水分補給するなど体調管理を徹底しよう!**